



### No 2782

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗



第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ  
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>  
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

テーマ  世界へのプレゼントになろう  
 Be a gift to the world  
 世界へのプレゼントになろう

クラブ  奉仕の理想車を走らせよう!!  
 Let's drive your ideal car of the service!!

### 次回のお知らせ

- 平成28年6月2日 第2784回
- ・会員卓話：成戸 文子 君 「座右の銘」  
嶋田 ひで 君 「花と私」
  - ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

### 本日のプログラム

- 平成28年5月26日 第2783回
- ・外部卓話：田代 利彦 氏 (有田市立病院事務長)  
「全ての出会い、出来事には意味がある」
  - ・ソング：「それでこそロータリー」

### 前回の報告 (第2782例会)

開催日 平成28年5月19日(木)

点鐘 (中元会長)

### 会長の時間 (中元会長)

日本には現在、オンラインで例会を開催するEクラブが11クラブ存在します。我々有田ロータリークラブのような従来からあるスタイルのロータリークラブが少しずつ消滅している一方で、未だ終結したEクラブは日本にないようです。

また、2016年度の規定審議会においてドイツから提出された出席規定の改正案が採択されました。これはオンラインによる例会出席がEクラブだけではなく、われわれのような従来型のクラブでも、オンラインでの例会参加に必要な技術的インフラが自分のクラブに設置されていれば、オンラインによる例会参加も通常の出席としてカウントされるというものです。つまり、私たち有田ロータリークラブのような従来型のクラブもEクラブ的性質を持ったクラブに変化することが可能となります。これは、Eクラブと従来型のクラブの垣根を取るような改正案だと言えます。

確かに、Eクラブなどのオンラインを利用した例会出席は多忙を極めるロータリアンにとって非常に重宝するシステムです。ネットを通じていつでもどこでも例会出席やメークアップが可能になるからです。しかし、このような方法でロータリーの目的を果たすことが可能となるのでしょうか。ロータリーの目的は奉仕の理念を育み奨励することにあります。この奉仕の理念を心の奥底から理解するために、われわれロータリアンは多忙な中、週1回の例会の時間をしっかりと確保し集まり、直接顔を合わせているのです。貴重な時間を共有し、共に勉強し研鑽を積むことで会員間に親睦が生まれるのだと思います。その親睦で蓄積された奉仕のエネルギーを、自分の仕事やその他の社会

貢献に使うのがロータリーではないでしょうか。

はたして直接顔を合わせない、時間も共有しないEクラブで、奉仕のエネルギー源となる会員間の親睦を形成することができるのでしょうか。

「入って学び、出でて奉仕せよ」の「入って」とはコンピューターの電源を入れるという意味なのではないでしょうか。

さらに、2016年度の規定審議会では、このオンライン例会出席既定の改正の他、例会開催を現在のように毎週ではなく、月のうち2回以上開催すればよいとする改正案、そして祝日などの例会取消の規定をもっと緩和する改正案などが採択されています。これらの改正案はいずれも会員が直接顔を合わす機会を減らすばかりか、会員間の親睦の促進を遅らせる要因になると思われます。

ポールハリスは「世界は絶えず変化しています。そして、私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書き替えられなければならないでしょう。」と述べています。

天国のポールハリスはこのような変化も良しと見ているのでしょうか。ぜひともお声を聞いてみたいものです。

### 幹事報告 (橋爪(誠)副幹事)

- 1.ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま194」  
(嶋田(崇)米山副委員長へ)
- 2.福井ガバナリーエレクト事務所より、PETS・地区研修協議会収支決算報告が届く
- 3.例会変更 (後方掲示)
- 4.国際大会の集合時間の変更の連絡 (9時集合に変更)
- 5.第11回通常理事会報告  
5月12日(木)13:30～ 経済クラブにて  
<協議事項>  
1. 5月、6月度の例会プログラム【承認】  
2. 4月度試算表【承認】

ニコニコ会計の支出に寄付金(災害義援金)項目を設けること

3. 桜木の手入れ決算について【承認】
4. 米山奨学生の交通費の件について【承認】
5. 国際大会について
6. ローターカレッジについて【承認】
7. ホームページ作成の進捗状況について【承認】  
国際ロータリーフェイスブックページをリンク
8. クラブ協議会開催について【承認】  
5月19日新旧合同にて
9. 最終例会について【承認】  
通常の例会を開催(夜間例会はしない)

酒井君:松村さん、本日の卓話どうぞよろしくお願ひします。

應地君:松村さん、いよいよですね。

岩橋君:松村次期会長、頑張ってください。

橋本君:スポーツ大会に参加しました。若い人にはなかなかかかないません。卓球予選で2勝1敗で予選敗退しましたが、たのしかった。来年はガンバルぞ!

井上君:本日のカレッジ、楽しみです。

石垣君:松村様、卓話よろしくお願ひします。

橋爪(正)君:松村さん、いよいよですね。頑張ってください。

中村君:松村さん、いよいよですね。1年間頑張ってください。

### 委員会報告

\*情報・研修委員会(橋爪(正)委員長)

今晚「ロータリーカレッジ」を開催します。ご出席、よろしくお願ひします。

### 次年度のための時間

2016-2017年度

有田ロータリークラブ運営基本方針

### 出席報告 (上野山(捷)例会運営委員)

本日の会員数27名  
(出席規定免除会員9名)  
出席会員数20名  
(出席規定免除会員8名)  
76.92%  
4/28 84.00%  
MU:なし



会長エレクト  
松村 秀一 君

### ニコニコ箱の報告 (中村SAA)

中元君:松村会長エレクト、次年度のための時間での卓話、よろしくお願ひ致します。例会終了後に、クラブ協議会、また午後5時30分から橋家さんでロータリーカレッジが開催されますので、御参加のほどよろしくお願ひ致します。

上野山(栄)君:本日、仕事の都合で欠席させて頂きました。どうもすみません。

橋爪(誠)君:松村会長エレクト、本日の発表楽しみにしていました。次年度、クラブ運営がスムーズに進めるよう努力いたします。微力ですが、よろしくお願ひ致します。

児島君:松村会長エレクト、次年度の抱負、拝聴します。

脇村君:松村エレクトさん、次年度の運営方針の発表楽しみです。

成川(守)君:松村会長エレクト、ご苦労さまです。

松村君:次年度のための時間、しゃべらせていただきます。

上野山(英)君:松村会長エレクトさん、本日よりいよいよ次年度への本格的な序章が始まりますね。がんばってください。

上野山(捷)君:松村エレクトさん、本日の卓話ご苦労様です。

60年近い歴史と伝統のある有田ロータリークラブの会長を務めさせて頂きます。とても光栄であります。その責任の重大さを痛感しております。幸い、橋爪誠治さんというパートナーを得ることが出来とても心強く思っております。誠治君1年間どうぞ宜しくお願いします。

今年度は中元会長のクラブ・ターゲット「奉仕の理想車を走らせよう」のもと親睦活動と奉仕活動を積極的に展開されました。有田ロータリークラブはロータリーに熱心な会員ばかり集まっているとつくづく感じました。会員の皆様は忙しいにもかかわらず楽しみながら活動されています。そのため実り多い結果がでていと思います。今年度は会員も増え嬉しく思っております。

2640地区においても成川守彦パストガバナーが諮問委員会委員、上野山英樹直前会長はガバナー補佐として活躍されています。来年度も成川守彦パストガバナーは諮問委員会と研修委員会に、上野山栄作君は地区の社会奉仕委員会に入って頂きます。

この素晴らしい有田ロータリークラブですが、クラブの弱点をあえて申しますと、会員数がやや少ないということでしょう。

さて、来年度の国際ロータリーの会長はジョンFジャーム氏です。会長テーマは「人類に奉仕するロータリー」です。ロータリーはインターナショナルの組織ですから、世界中の人にサービスをするということのようです。

2640地区の次年度ガバナーは福井隆一郎氏です。地

区の活動方針は「対話から新たな一歩へ 共に楽しむロータリー」です。2640地区が、長いトンネルを抜けだし、新たな一歩を歩み出そうとしている今、できるだけ多くの会員同志との対話が必要です。様々な職業を持った有能な地域のリーダーの意義深い考え、アイデアを広く共有することが大切です。当然個々の考えは様々です。それをロータリーの奉仕の概念で結びつけて、切磋琢磨することによって社会に奉仕し、ひいては各会員に恩恵を与えています。それには、全てがガラス張りで、正々堂々とした行動をとらなければなりません。我々がこの素晴らしいロータリー活動に誇りを持って進め、広く地域社会にアピールすることにより、色々な奉仕活動に結びついていきます。未来に向かって、前を向いて進めていきましょう。

——国際ロータリー第2640地区のロータリアンの笑顔が満ちています。——  
ということです。

地区の活動方針の前半「対話から新たな一歩へ」です。ここ数年地区は停滞しておりましたが来年度は前に進みましょうというメッセージです。そして後半の「共に楽しむロータリー」に続きます。地区内のクラブが交流して楽しみましょうということでしょう。

有田ロータリークラブは常に前に進んで来ました。そこで、対話を親睦に変え、後半の表現も少し変えて、次年度のクラブ目標を「親睦を深めロータリー・ライフを楽しもう」とします。

親睦という言葉はロータリーに於いて世間一般の意味と少し違うようです。親睦はロータリー運動そのものではなく、ロータリーという植物が根をはり、成長するためにどうしても必要な、最上の土壌に過ぎないのである。と何度か聞いたことがあります。

ロータリー運動の実体を見事に表した言葉として、[入りて学び、出でて奉仕せよ Enter to learn, Go forth to serve]と言う言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動のことを[親睦]と呼ぶのです。

様々な業種の会員が毎週開かれる例会に集って、お互いが師となり徒となって奉仕の心を学び自己研鑽を重ねます。それをロータリー運動の一つの柱と考えて、それを達成するために試みられる、ロータリアン同士の真の友情に裏打ちされたあらゆる活動のことを、ロータリーでは[親睦]と定義付けているのです。

この親睦として奉仕はロータリーライフを支える大きな2本の柱です。親睦はクラブの例会に集うことが基本であります。そしてそのクラブライフの中で奉仕の心が育まれます。奉仕は個々の会員が、家庭、職場、地域社会で行います。もう一度繰り返します。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。

さきほど言いました、クラブの目標に親睦の言葉は入っ

ていますが、奉仕が入っていないのはそのためです。つまり、クラブ内で行われる活動が親睦であり、クラブ外で個々のロータリアンがする活動が奉仕と言えるからです。例会は一週のうち一時間しかありません。あえて言えばロータリーライフの中身の大半が奉仕であります。

毎週の例会に集うことが親睦の基本ですが、クラブ内の親睦のみならず家族間、また他クラブ会員や地域の人々と知り合い、そして友情を増進するような活動を目指します。レクリエーションや社交的活動だけでなく対外的な奉仕活動、各委員会活動、IDMやロータリーカレッジなどの会議や研修会においても、楽しみながら親睦を深められればと考えています。

「ロータリーの4つのテスト 言行はこれに照らしてから」こちらの壁にも掛けてあります。この中の3つ目は「好意と友情を深めるか」です。ロータリー・ライフの様々なシーンで「もっと好意と友情を深められないか」を考えたいと思います。

楽しいクラブ・ライフそして楽しいロータリーライフであれば会員増強も容易になるでしょう。

各委員会の活動方針について述べます。

クラブ奉仕委員会の中には5つの小委員会があります。

会員組織委員会。有田ロータリークラブにとりまして会員増強は最も重要な課題であると認識しております。日本は2005年から人口減少社会になったと言われております。会員数が減るのは仕方がないかも知れませんが、人口の約半分は女性です。会員の皆様やご家族の知人友人の中に会員候補となる女性がおられるのではないのでしょうか。昨年ついに有田ロータリークラブにも女性会員が誕生しました。この2015年は会員数増加への転換点になるのではないかと考えております。

情報研修委員会。今年4月にシカゴで3年に一度の規定審議会が開催され、様々な立法案が審議されました。その結果を受けて有田ロータリークラブの定款、細則、ならびに内規の変更が必要です。年に2回のIDMとロータリーカレッジの開催も有田ロータリークラブの伝統だと思っております。ロータリーカレッジについては来年度旧IM2組単位のミーティングを当クラブが主催しますので、このミーティングの中にロータリーカレッジを組み込みたいと思っております。

例会運営委員会。ここはクラブのもっとも重要な委員会でクラブの心臓部です。外部卓話者の招聘には多大な労力が必要だと思っております。委員会から会員にも卓話者紹介の依頼があった時はご協力をお願いします。

親睦活動委員会。ほぼ毎週活動して頂きます。また全ての行事や活動について関連のある委員会です。委員会としてどんなことができるか考えて積極的な行動をお願いします。

ロータリー広報委員会。週報発行は事務局のおかげで負担が軽くなっています。対外的な公報活動に知恵を絞っていただけたらと思っております。画期的なアイデアを期待しております。近々クラブのホームページも改装されます。このホームページも最大限有効に活用できれば良いと思っております。

職業奉仕委員会。ローテーションデーと呼ばれる年に一度の例会はいつも有意義で充実しています。事業所



訪問ならびにその事業内容や仕事についての卓話をし  
て頂き、その仕事とその職業に携わる人々について理解  
を深める機会としたいと思います。そして自分自身の職  
業奉仕について見つめなおし新しいアイデアを生み出  
せればよいと思います。

社会青少年奉仕委員会。地元中学生を対象にした奉  
仕プロジェクトを計画しています。有田川クリーン作戦、  
有田みかん海道の桜木の手入れ清掃も例年通り行いま  
す。会員みなさまのご協力をお願いします。

国際奉仕委員会。ロータリー財団委員会と米山奨学会  
委員会の小委員会があります。国際奉仕に関する事業と  
して、米山奨学生のトウ・トウ氏の世話クラブとしてお世話  
をさせていただきます。これはすでに先週から始まっておりま  
す。橋本拓也君がカウンセラーをして下さいます。

委員会の活動方針を述べさせていただきましたが、各  
委員会で検討して頂き、もっとよいやり方もしくは他にや  
りたいことがあればその良い方法や、やりたいことを進め  
ていって下さい。要するに、一言で言えばロータリーを楽  
しんでいただきたいのです。皆様は日々職場で自ら仕事  
を作りそれを率先してこなしておられると思います。それ  
と同じようなことをクラブライフの中で職業としてではなく  
ボランティアとして行なっていただきたいと思っております。

まだ時間がありますので私のこと有田ロータリークラブ  
についてお話させていただきます。

私は有田ロータリークラブに入会させていただいてまる  
7年が経ちました。7年前までロータリークラブについてほ  
んど何も知りませんでした。また関心もありませんでした。  
しかし、10年あまり前に18歳の時からやっておりました  
趣味のヨットをやめ会社の方も卸売業をやめました。その  
結果、公私に渡りお付き合いの範囲が極端に狭くなってしま  
っておりました。ちょうどその頃、栗原先生が声を掛けてくだ  
さいましたので入会させていただきました。また、ボラン  
ティア活動には興味を持っておりました。学校卒業の後、  
会社勤めを7年間しておりましたが、そのときに、先輩から  
「ボランティアは楽しいぞ、体は疲れるが、精神的にリフレ  
ッシュできる。仕事で溜まったストレスから開放されるんだ。」  
と、その人は言いました。一度ボランティアにも誘ってくれ  
ましたが、わたしの都合がつかずそれっきりになっていま  
した。その数年後、松村商店に入社した後、和歌山県ヨット  
連盟から子供にヨットを教えるジュニアヨット教室を手伝  
うよう依頼があり、私は先ほどの先輩との会話を思い出  
し即答しました。「手伝わせてもらいます。」と。この  
ジュニアヨット教室というのは小学3年生から中学3年生  
までの児童生徒を日曜の午後に預かって子供用の小さい  
ヨットに乗せて遊ばせます。そしてほんの少しだけですが  
ヨット競技の技術が向上するようにお手伝いをします。託  
児所代わりに子供を預けに来る若いお母さんもいました。

その後、ヨットレースの運営やレースの審判員をする機  
会が度々ありました。実際にボランティアをやってみます  
と会社の先輩が言ったとおりでした。体は疲れますが、精  
神的にリフレッシュされました。ロータリーに入会後、  
分かってきたことはクラブ奉仕と社会奉仕、青少年奉仕な  
どはボランティア活動といえます。しかしながら職業奉仕だ

けは少し違います。ロータリークラブの良い所はこの職業  
奉仕という言葉に集約されています。ほとんどの人は生活  
の大半の時間を仕事に費やしています。職業のキャリアを  
始めた早い時点でこのロータリークラブの職業奉仕という  
哲学に触れることができればその人生はとても素晴らし  
いものになると思います。残念ながらロータリークラブに  
入会する人は職業のキャリアが後半に入ってから、または  
終わりに近づいてからの入会が多いと思います。若い人  
たちに入会してもらう良い方法はないかと考えていま  
すが、残念ながら良いアイデアがさっぱり浮かびません。  
困難なことだと思いますが、成功すればその成果は素晴  
らしいものとなるでしょう。

私は厄年ですが良いこともあります。それはロータリー  
クラブ会長をさせていただけるということです。先日2016  
-2017年度のための地区研修・協議会がありました。1年  
前のそれと比べると天国と地獄、それぐらい違ったそう  
です。地区の状況がこんなに劇的に改善されましたのは、  
上野山英樹直前会長のご尽力によるところがとても大き  
かったと思います。感謝申し上げます。私は地区が良い  
状況のもとで会長になれます。とても幸せなことであり  
ます。

まだまだ未熟者でございます。ご指導ご鞭撻よろしくお  
願いします。1年間、精一杯努めさせていただきますので、  
どうぞよろしく願いします。

閉会・点鐘 (中元会長)

第20回 有田ロータリークラブ  
ロータリーカレッジ  
平成28年5月19日 於) 橘家



講演

浦口 英尚 氏  
2640地区  
米山山記念奨学委員長

「米山奨学会の  
歴史と現状」



有田南RC、有田2000RC、田辺はまゆうRCからもご参  
加いただきました。またカレッジ終了後、懇親会を開催  
しました。